警鐘レポート2　注射剤の血管内投与後に発症したアナフィラキシーによる死亡
事例16
＜事例概要＞ ・60歳代、膝蓋骨骨折の患者。死亡時画像診断（Ai）有、解剖無。 ・原因薬剤は、ニューキノロン系抗菌薬（シプロフロキサシン）。病室で発症。 ・過去にβ-ラクタム系抗菌薬（フロモックス）を使用し、アレルギー症状の出現有。 ・抗菌薬の点滴を開始した5分後、顔色不良、浅呼吸、瞳孔散大。医師へ連絡し、薬剤投与を中止。初発症状から５分後、呼吸停止となり心肺蘇生を開始。１０分後、アドレナリン1mgを静脈内注射。救急処置を実施するが、3日後に死亡。